

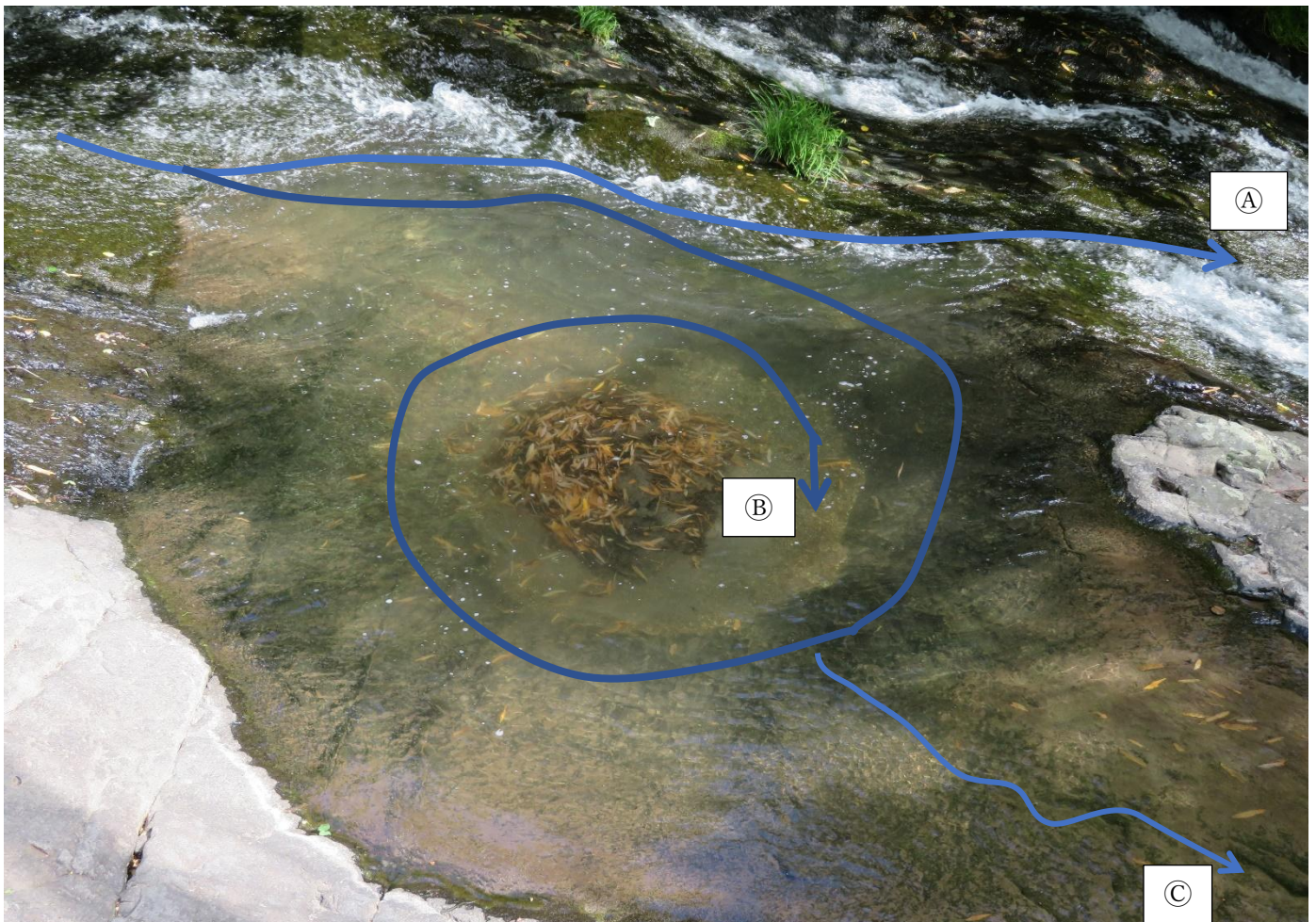
私は、貴方は「人間デブリ」——あの東京電力福島原子力発電所爆発事故で生じた放射能まみれのあらゆる瓦礫が固まった残骸様相のものを抱えていないか？ 全身が「人間デブリ」漬けになっていないのか？

川流れに見る老害の愚（^ぐ 愚^ぐ 迂^う 多^た 良^{ろう} の愚）のこと。一方向の流れが作る渦から学ぶ、人間の心模様・有り様を投影するとても重要な学びがある。

図－1 は、私の自宅から直線距離 700m ほどの所にある龍山川の渦巻き状況である。

□1；①は本流で傾斜に従い真っ直ぐ流れ下る。高低の落差（対極性）があるからこそ流れに勢いが付きゴミなどが溜る淀みが生じない。水は自らがいつもきれいで、かつ下流（周囲）に新鮮さを供給する、利他行と重なる。

□2；②は本流①から分かれて、一方的な右回りの渦を作る、その流れに沿って来たゴミ（葉）は中心部に向けて寄り集まり、滞留・硬化している。高低の落差（対極性）がないから、淀みが生じゴミなどの不要物が溜る。腐った溜水の余りが③となり、周囲に腐敗の臭いを発散させる。せっかくきれいな供給を受けながら溜まったが故に自ら汚れて行くのだ、自業自得の極みになろう。象徴的な言葉は硬直と委縮である。



図－1

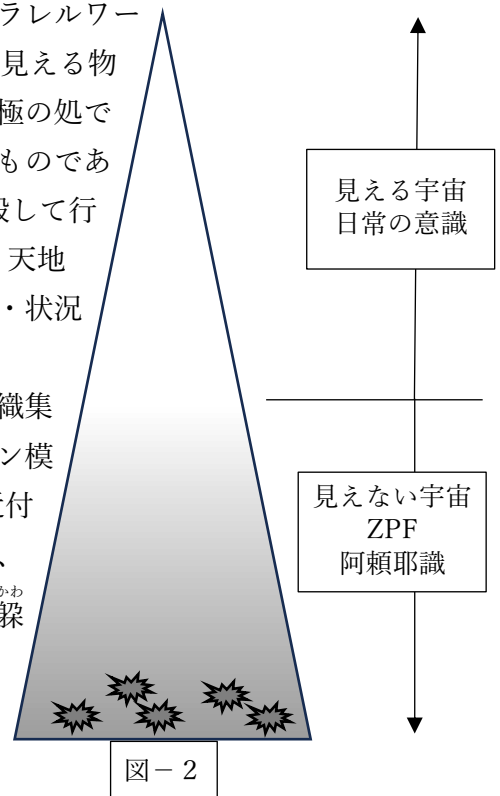
この渦流れをしばらく観察した、溜った中央部のゴミ・葉は腐れ掛かっており、円弧の流れがきちんとあるにも係らず一端溜ったゴミ・葉は外部に排出されることはなかった。円弧の流れがあるというものの、それは右巻き一方向の渦巻きだからである。

たかが、小さな川の流れ状況だが、自然原理から学ぶこと大なる。高低の落差（対極性）があるからこそ流れに勢いが付きゴミなどが溜る淀みが生じない。擬人化したことでは、一方的な見方に偏り、自己主張を正当化すればするほど、固執すればするほどに、その呪縛で心が汚れて行く様相が重なる。⑥の場所は長年の渦巻きにより底岩が削られて凹部を形成している。ここで浮かんだのは、「塵ちりも積れば山となる」と、その同意とされる「点滴石をも穿つ（点滴穿石）」の諺である、小さな水滴でも、長く落ち続ければ石に穴を開けることが出来るということで、努力の功という前向きな意味合いもあるが、いいも悪いもスイスの哲学者・詩人アミエルが残した名句「人間は習慣の織物である。」あるいは、古代ギリシアの哲人ディオゲネスの言葉「習慣は第二の天性なり」に繋がる訓えを貰う。俺の信念は揺るぎないなどと一方的な偏った思想信条を是とする独善的性格は習慣・癖となりこのようになる。

このような自然原理に触れると、ある種の恐ろしさを感じる。この見方は私の個人的思い付きではない。所々に記述しているが、最新最先端量子学研究から発展したパラレルワールド、あるいはZPF（ゼロポイトンフィールド）の見方において、見える物体・科学と、見えない精神・宗教は、この現実の宇宙界において究極の処で融合一致しているのだということが判明したという学説を踏まえたものである。この「見える宇宙」に併存し、「見える宇宙」が量子化して沈殿して行く先のもう一つの「見えない宇宙」（ZPF）の様相を教えてくれる。天地に立つ人間であり、天地人は同根である、この小さな川流れの様子・状況はそのまま人間の有り様と重なる。

私は以上のことから、単純なイメージとして、個人にせよ、組織集団にせよ、図-2のとおり腐れ切った底黒（腹黒）グラデーション模様が浮かぶ。75年以上もの人生を歩むと、このような性格の人に近付くとプーンと嫌な臭いを感じ取れるようになった、そうした場合は、面従腹背と馬耳東風と通り一遍の表層的時侯挨拶の処世術を以って^{かわ}躲すことにしている。

この「一方向の川流れに見る弊害」は「^{ゆうげん}有源の^{せいすい}井水」（No09）と真逆の教訓がある。



さてさて、その人間デブリ処理に関する計画は約30～40年かかるとされている、今、還暦の60歳であれば90歳から100歳である。そこで、90歳の頃に貴方は今と同様の活躍を出来ると確信できるのか？

最も恥ずべき放射能まみれの「人間デブリ」を排除、もしくは除去出来る押(おう)背(せ)の力は寛大三(賛)美言であると私は確信出来る。

(end)